

1. 研究者になろうとしたきっかけ

私は、がん専門病院でがん患者さんとご家族のこころのケアを行っています。「何か他にも自分にできることはないか」と考え、がん患者さんのこころのケアに関する研究を通してお役に立てるのではないかと思い立ったのがきっかけです。

2. 助成研究の紹介

AYA 世代のがん患者さんは、同世代の患者さん同士で集まって悩みを相談したり、情報交換したりする場がほとんどないのが現状です。そこで、私たちは 2016 年 5 月から AYA 世代のがん患者さん同士の交流の場として『AYA ひろば』を運営しています。

この研究では、『AYA ひろば』の参加者を対象にアンケート調査を行います。その結果を踏まえ、AYA 世代のがん患者さんのピアサポートの全国への普及モデルを開発することが目的です。

3. 前年度からの研究の進捗状況

私たちは、2018 年 5 月までに『AYA ひろば』を計 21 回開催しました。計 61 名の患者さんが参加し、内容に関するアンケートの回答を得ました。満足度に関して「とても満足である」(55%)、「満足である」(45%)、有用度に関して「とても役立った」(65%)、「役立った」(35%)という結果でした。これまでの私たちの取り組みから、AYA 世代のがん患者さん同士の交流の場のニーズは大きく、参加者の満足度も高いことが示されました。

4. 全国の RFL 関係者に一言

AYA 世代のがん患者さんの支援をより充実させるために、一緒にがんばりましょう！